

腎友さがみはら



ヘルプマーク

腎友会ニュース 第159号

相模原市

発行日:令和2年9月12日

責任者:羽田 彌

相模原市南区南台2-8-1-301 TEL 042(748)3773

※ヘルプマーク：内部疾患などの障がいや疾患が外部から分からない人が支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせる事が出来るマーク。



「イルカショー」於：新江ノ島水族館 相模大野内科・腎クリニック 藤本理絵様（会員の家族）撮影

目次

・医療情報 検査数値の見方②	1
・病院・クリニック紹介 医療法人貢壽会相模大野内科・腎クリニック	3
・二つの政党の政策懇談会へ要望書提出	5
・日本透析医会災害時情報ネットワーク書き込み訓練結果	6
・投稿「雑題＝近頃を考えるままに」加賀谷文博様	7
・投稿 俳句「 ^{かなかな} 鯛や」羽田幸江様(賛助会員)	8
・投稿のお願い	8
・アンコール掲載 投稿「さがみはら散歩道」	9
・新規加入者紹介・青い鳥はがき等寄付者名簿	10
・活動日誌・お詫びと訂正・編集後記	11

検査数値の見方②

本稿は全国腎臓病協議会機関誌「ぜんじんきょう 293号
(2019年5月7日発行)」に基づくものであり、
転載について同協議会の許可を得ている。

今回は東京渋谷の甲状腺疾患専門伊藤病院のホームページ内容について
同病院の了承を得て転載した (<https://www.ito-hospital.jp>)。

今回は、前回に引き続き、骨や関節の障害に関係する副甲状腺ホルモン
値 (PTH 値) について解説したい。

慢性腎不全になると、リンの排泄とビタミン D3 の活性化ができなくなる。
活性化ビタミン D3 が低下すると腸管からカルシウムの吸収が低下する。
つまり、腎不全の人は血液中のカルシウムが低下し、リンが上昇する。
これらの状態は副甲状腺を刺激し、副甲状腺ホルモンの分泌を促す。
長期間刺激され続けた副甲状腺は腫大し、やがて、血液中のカルシウムに
関係なく副甲状腺ホルモン (PTH) が過剰に分泌される。この状態を二次
性 (続発性) 副甲状腺亢進症と言い、腎性副甲状腺亢進症はその代表的な
ものだ。

PTH 値は毎月の血液検査では行われていない。おそらく短期間では変化
しにくい数値なのだろう。副甲状腺ホルモンは血液中のカルシウムやリ
ン、骨のカルシウムを調節する働きをしている。値が高いと、骨からカル
シウムとリンを溶かし出し、骨がもろくなり、骨や関節の痛み、骨折の原
因になる。反対に値が低くても骨の代謝が止まった状態になるために注意
が必要だ。

カルシウムとリンが適正な値に調整されていれば副甲状腺ホルモン値
(PTH 値) は適正に保たれやすく、石灰化は起こりにくくなる。

わたしたち透析患者ができることは、副甲状腺ホルモン値 (PTH 値) を
よい状態に保つ為にリンの数値に気をつけることだ。

長期透析が起因となる副甲状腺亢進症はリン吸着剤や副甲状腺ホルモン
をコントロールする薬剤の進歩によって減少している

わたしは透析導入直後にすでに副甲状腺ホルモン値 (PTH 値) が高かつ
た。アイソトープ検査の結果、一次性 (原発性) 副甲状腺亢進症であるこ

とがわかった。これは、長期の透析によって引き起こされるものではない。副甲状腺にできる腫瘍や過形成などが、副甲状腺ホルモンを過剰に分泌し、血液中のカルシウムの濃度を必要以上に高くする。手術で腫瘍化した副甲状腺を摘出することで解消される。腫瘍はほとんど良性のことが多い、わたしの場合も摘出してくれた担当医から良性であったと告げられた。

幸い、わたしは透析クリニックの医師のおかげで原発性の副甲状腺亢進症を発見できた。透析を受けている身だと体の異常は透析のためと考えてしまいがちだが、心配なときには担当医に相談することが肝要だ。

副甲状腺ホルモンの測定は、通常インタクト PTH という指標で測定されるが透析クリニックによってはホール PTH という指標が使用されることもある。

項 目		透析患者の目安値（透析前）
副甲状腺ホルモン	インタクト PTH	60～240 pg/ml
	ホール PTH	35～150 pg/ml

（二ノ宮記）



病院・クリニック紹介

医療法人貢壽会相模大野内科・腎クリニック

二ノ宮美和子

なんと言っても、アクセスの良さ。相模大野駅北口から徒歩3分の第一タカビル4階。小田急線に乗って通勤する患者にとって好立地である。月・水・金は夜間透析もあり、会社帰りにも気軽に立ち寄れる。

クリニック内はとても明るく、所々にセンスのよい版画やブリザードの花が飾られている。受付は、クリスマスの時期には小ぶりのツリーが置かれるなど、季節感が漂うディスプレイが素敵だ。受付の方々の笑顔と優しい声にも癒やされる。待合室には大きなテレビが備え付けられていて、広々として清潔である。

患者は透析室入室後、荷物を置くとシャント部分を洗う。洗い場にはポンプ式の泡ソープとアルコール消毒薬がある。シャント部分を中心に上腕部をよく洗う。シャント肢は清潔にという考えからだろう。洗い流すのは手をかざすだけで水や湯が出る手術室にあるのと同じくみのもので行う。備え付けのペーパータオルで拭いた後、自分の名前の記されている名刺大のカードを所定の場所にかざし、透析機器と連動している体重計にのる。全自動透析システムだ。

新型コロナウイルス流行以前は院長である鎌田貢壽先生が入室すると患者が入室し、穿刺が始まっていた。朝のあいさつを交し、血圧手帳を提出する。必要な時には体の状態を先生に聞いてもらう。もちろん先生が気にかけている患者には、先生の方から体調を尋ねる。

朝、夕の血圧を測定し、記録したものを提出するのはクリニックの必須である。現在は待合室でソーシャルディスタンスを保つ為に8時10分前後の入室になっている。

先生が、心電図や心胸比等の検査結果を知らせるとき、体調変化が見られるとき、薬が変わるときなどはベッドまで来てくれるので話ができる。これはうれしい。

わたしのベッドの周りの男性たちは先生からよく、
「ちょっと、足を見せてくださいね。」
とされている。しかし、わたしはこのところ言われたことがない。
「たまにはわたしの足もみてほしい。」
と看護師さんに言うと
「曲線美を？」
と返され、二人で大笑いをした。

看護師さんも技師さんも優しく、ユーモアがあって楽しい雰囲気だ。
もちろんだなたも穿刺がうまく、ほとんどミスがない。血圧の異常を知らせる音がするとすぐにかけてくれる。本当にありがたい。血液検査の結果を相談するとていねいに教えてくれる。即答できないときは調べてきてからと、慎重なので信頼できる。

鎌田先生は自己管理を重視している。自分の病状を正確に捉え、どうすればよいかを考えて実行することがよりよい生活を保つために欠かせないという考えからだろう。心したい

先生の理想は「お風呂屋さんに来るように人工透析を受けてほしい。」である。医師や看護師、技師さんに体の状態を相談して日常生活にもどる。それには自己管理が欠かせない。

相模大野内科・腎クリニックの透析室は先生の理想に近づいていると思う。

以上



二つの政党から政策懇談会への参加要請あり、 要望書を提出

公明党相模原総支部並びに立憲民主党相模原総支部から、それぞれ政策懇談会の開催案内、出席要請が来ましたが、新型コロナウイルス感染禍の中、私達は感染リスクが高いことを考慮して懇談会には出席せず、以下の要望書を提出しました。

1. 重度障害者医療費助成制度の現行の形での継続（市）

週3回の透析医療により命を繋いでおり、かつ合併症等による透析以外の医療費も多く発生する透析患者にとり、本制度は大変貴重な施策であります。現行の形での継続をお願いします。

2. タクシー券の金額増額（市）

予てよりお願いしていたタクシー券の金額増額について増額の必要性についてご理解いただいたと認識していますが早期の実行をお願いします。その際には、横浜市、川崎市の事例（両市ともに一般障がい者支給額の倍額の年間84,000円）を参考にして頂きたい。

3. タクシー利用助成の使い勝手向上（市）

タクシー券は現在500円券で統一されていますが、100円券も織り交ぜていただくことにより使い勝手の向上をお願いします。

4. 障害者差別解消推進条例の制定を早期に実現していただきたい。（市）

市は現在、人権条例を検討していますが、障害者差別解消推進条例は人権条例とは別の独立したものとして制定して頂きたい。差別解消推進条例は合理的配慮を提供する場面について具体的に例示する必要があります。また、周知啓発、市の責務、差別の事後対策、会議体設置など幅広い事項を盛り込む必要があります。加えて、市民に対して差別解消推進に取り組む市の姿勢を示す意味でも独立したものとすべきと考えます。

5. CKD（慢性腎臓病）の予防・重症化防止に向けた啓発活動（市）

透析患者を増やさないことにより多額の医療費の発生を抑制する為にも慢性腎臓病（CKD）及び透析患者の原疾患の一つである糖尿病の予防・重症化防止に向けた啓発活動の拡充に配慮ください。

6. 大災害時の透析患者の通院手段の確保（県・市）

大災害時に透析患者の移送を大きく担っている福祉有償運送車両並びに透析施設の患者移送車両について「災害時緊急車両」としての許可が得られるよう配慮願います。

以上

今年も日本透析医会災害時情報ネットワーク 書き込み訓練が行なわれました

『日本透析医会』は

- ① 震災時に透析患者を救済する為、
- ② 全国の医師間で迅速で性格な透析施設情報の収集・提供・交換を可能にする為

阪神大震災後に『日本透析医会災害時情報ネットワーク』を立ち上げました。そして、防災週間に合わせて、毎年、全国で、この情報ネットワークへの情報書き込み（＝情報入力）の模擬訓練を行なっています。

今年も去る9月1日に、被災地域の各施設の被災状況或いは透析可能かどうかなどを、また被災を免れた地域の施設からは透析患者の受け入れが可能かなどの情報を書き込み（＝情報入力）して、情報の交換を行ないました。

参加された施設名を次のとおり記載させていただきます（順不同です）。参考までに昨年施設名を記します。

令和2年度	令和元年度
<ul style="list-style-type: none"> *JA 相模原協同病院 *第二相模原クリニック *広瀬病院 *東芝林間病院 *海老名クリニック（海老名市） *北里大学病院 *相模大野内科・腎クリニック *瀏野辺総合病院 *相模原クリニック *相模台病院（座間市） *橋本クリニック *森下記念病院 *さがみ循環器クリニック *中央林間病院（大和市） *おおの駅前透析クリニック *麻溝じんクリニック *総合相模更生病院 *橋本みなみ内科本院 *橋本みなみ腎クリニック *相原病院 *地域医療機構相模野病院 *相模原赤十字病院 	<ul style="list-style-type: none"> *JA 相模原協同病院 *第二相模原クリニック *広瀬病院 *東芝林間病院 *海老名クリニック（海老名市） *北里大学病院 *相模大野内科・腎クリニック *瀏野辺総合病院 *相模原クリニック *阪クリニック *相模台病院（座間市） *橋本クリニック *森下記念病院 *さがみ循環器クリニック *中央林間病院（大和市）



「雑題＝近頃を考えるままに」

橋本みなみ内科本院

加賀谷文博

～8月下旬記す。～

会員の皆様、残暑御見舞申し上げます。透析や諸検査の為の通院、本当にお疲れ様です。連日焼き付く様な日照の中にも立秋をやり過ごし、処暑を迎える此の頃ともなれば流石に朝夕に秋到来近しの気配を感じ取れます。

勢い胸突き八丁？新型コロナの猛威に振り回されての今年ですが、過日発表された4～6月のGDPの大きな落ち込み、相次ぐ国の梃入れにも係わらず落ち込みの激しい経済には深刻さも建て直しに向けて長期化も避けられないでしょう。

腎友会活動に於いても、全国・県・市何れも年初来の密を避けての騒動には、活動計画略全般に着手出来ず、中止・延期の状態が続いています。皆様から預かった国会請願署名や募金についても現在、全腎協に集結され、秋の国会期間中に何らかの方法で提出すべく調整中です。

市の“日帰りバス旅行”も、折角、若く、パワフルな女性幹事へ代わったものの、暫く静観やむなしです。一日も早く、また、皆様と一緒にのびのびと郊外の旅路を楽しみ度いものです。

ソウソウ、我らの橋本みなみ内科透析室ですが、この7月下旬の或る日突然経営者が何を思ったか知りませんが密集していた一、二階のフロアから分けて三階フロアへも分散させました。密集から可成り解放され、歓迎ですがもっと早くに決断下されれば尚良かったと思っています。

過日配布済みの「ぜんじんきょう」300号記念誌ですが誕生から丸49年目で到達した黎明期当初からの腎友会歴史という深い内容、是非とも環境の恵みに浸りきった昨今の透析患者全般が等しく読み込む必読記事であります。

前号の機関紙「腎友さがみはら」での市腎友会会計の小久保女史寄稿の転ばない様には決して笑い話処ではありません。我々役員も（一部を除き）寄る年波ですっかり高齢化真っ只中、歯を喰いしばって頑張っています。どうか、役員登用での若い力が結集されます事、スムーズな世帯交代を熱望致します。

俳句

森下記念病院 賛助会員

羽田幸江

蝸かまかな
や

汗の子の工作材料あれこれや

晩夏光少年少し前屈み

アート展分からぬもよし夏の果

涼風のまづは襟元ほつほつほ

不ぞろひの小鉢三つ四つ今朝の秋

蝸かまかなやほどほどと言ふ距離の好き

長老の鎌を巧みに盆用意

盆の道風のあるらし棄て畑

ステイホーム弾け飛びたる鳳仙花

野の花の土へと還る彩いろならぬ

投稿のお願い

● 表紙に載せる写真

お住まいの近辺での写真、季節を映し出す作品、旅行先での写真、ご自分の絵などの作品を撮った写真なんでも結構です。カラーをお願いします。

● 文芸作品

川柳、俳句、短歌、エッセイ、透析生活で感じる事など何でも結構です。

● 旅行記

会員皆さんが経験した楽しい旅行を他の会員にも分け与えてください。透析海外旅行も結構です。短い文章でも結構です。

● 民話・伝統行事

現在お住いの地域、お生まれになった或いはお育ちになったふるさとの民話・伝統行事を教えて下さ。

【問合せ先・連絡先】

◆ 各施設の相模原市腎友会役員

◆ 相模原市南区南台2-8-1-301 羽田 彌

TEL&FAX 042-748-3773

Email h.haneda@kbf.biglobe.ne.jp

さがみはら散歩道

ダイダラボッチ（デイラボッチ）の足跡（南区淵野辺一鹿沼公園）

昔話の天をつく巨人のダイダラボッチ（デイラボッチなど名前が多数あります）をご存知でしょうか。

相模原にも、そのダイダラボッチの足跡が残っています。

JR淵野辺駅から徒歩3分程度の鹿沼公園があります。春には池に映える桜を見に多くの方々が訪れる相模原の公園です。この池がダイダラボッチの左足の足跡のと言われてい

ます。昔、東の国には高い山が無いということでダイダラボッチは富士山を藤蔓（ふじつる）で結んで背負い、ノッシ、ノッシと歩いてきました。ここらで一休みと大山に腰掛け、富士山を背から降ろしましたそうです。そろそろ歩き始めようかと思つて、富士山を背負ったら、富士山に根が生えて動かなくなってしまうました。それでもダイダラボッチは富士山を背負おうとをして、一所懸命踏ん張ります。



そのとき踏ん張った時の左足の足跡が、今の淵野辺の鹿沼公園の池とされています。右足は、JR駅の淵野

辺駅の青山学園の裏の菖蒲池といわれています。今は、菖蒲池は埋め立てられ、跡地しか残っていません。

ダイダラボッチが富士山を背負おうと一生懸命踏ん張ったら、藤蔓（ふじつる）がプツンと切れ、ダイダラボッチは、富士山を背負う事ができなくなりました。そこ

で、ダイダラボッチは、富士山を背負う為の藤蔓（ふじつる）を相模原

で懸命に探します。しかし、見つからず、探しているうちに、ダイダラボッチのフンドシが

緩みましたがそれでも、フンドシを引きずりながら探しました。この時、フンドシを引きずったあとが、県立相模原公園近くの窪地ともいわれています。

藤蔓（ふじつる）が見つからず、ダイダラボッチが地団太踏んで出来たのが「じんだら沼」と伝えられています。



♥♥♥ 新規入会者紹介 ♥♥♥

♥橋本みなみ内科本院

小林 雪江様
佐々木 政彦様

♥森下記念病院

福山 国利様

♥♥♥ 青い鳥ハガキありがとうございます。 ♥♥♥
～切手、年賀ハガキもありがとうございます。～

♥愛川クリニック

今井 直子様 20枚

♥橋本みなみ内科本院

笹野 幸子様 20枚

市川 淳子様 20枚

樋口 八重子様 20枚

館盛 正博様 20枚

佐々木 庸生様 20枚

宮本 和彦様 20枚

有働 富子様 20枚

八木 静男様 20枚

近藤 行雄様 20枚

郡司 保之様 20枚

土屋 亮夫様 20枚

宮崎 昭二様 20枚

神山 幸久様 20枚

富田 民幸様 20枚

榎本 賢寛様 20枚

加賀谷 文博様 20枚

+切手 82円×2、63円×2 62円×2

小森 千恵子様 20枚

青柳 敏子様 20枚

山下 秀己様 20枚

小林 雪江様 20枚

山崎 信男様 20枚

寺田 一美様 20枚

庄司 正様 20枚

織田 賢治様 20枚

丸山 征弘様 20枚

菊地原 静様 20枚

高椋 充様 20枚

高椋 充様の奥様 63円年賀はがき 30枚

塚本 泰守様 20枚

市川 孝子様 20枚

長久保 ユキミ様* 20枚

内田 功様* 20枚

佐々木 喬子様* 23枚

小美野 芳久様* 20枚

大麻 恵子様* 20枚

鈴木 直美様* 20枚

匿名①* 20枚

+切手 52円×6 80円×2 50円×2

匿名②* 20枚

匿名③* 20枚

匿名④* 20枚

小俣 和子様* 10枚

♥橋本みなみ内科腎クリニック

河西 しづ子様 20枚

鈴木 いく江様* 20枚

注) *印は非会員

♥さがみ循環器クリニック

菱山 美奈子様 20枚

(右上に続く)

◆ 活動日誌 ◆

※ 氏名は参加者を示します。順不同です。

- 06/24 (水) 相模原市社会福祉業団評議員会 (れんきょう) 羽田
但し、書面による議決権行使。
- 07/11 (土) 相模原ボランティア協会理事会 (れんきょう) 羽田
- 08/02 (日) 第229回役員会
但し、資料を全役員に送付し、意見・質問を求めた。
- 08/06 (木) 県腎友会常任理事会 加賀谷
- 08/06 (金) 公明党相模原総支部政策懇談会要望提出 羽田
- 08/08 (土) さがみはらボランティア協会理事会 (れんきょう) 羽田
- 09/12 (土) さがみはらボランティア協会理事会 (れんきょう) 羽田
- 08/13 (木) 立憲民主党相模原総支部政策懇談会要望書提出 羽田
- 08/23 (日) 県腎友会理事会 加賀谷、渡部
- 08/23 (日) 県腎友会広報委員会 渡部

◆ お詫びと訂正 ◆

前号158号において以下通りの文章が一部欠落していた部分及び間違いがありました。お詫びして訂正します。

◆ 4 ページ

- ・訂正箇所：「今後の相模原市腎友会の活動」の下から1行目
- ・訂正内容：「・・・新型コロナウイルス感染禍の影響と」⇒「・・・新型コロナウイルス感染禍の影響と関係なく取り止めることとしています。」

◆ 10 ページ

- ・訂正箇所：青い鳥はがき寄付者の最下段
- ・訂正内容：相武台ニーレンクリニック 小久保きよ子様 20枚
⇒ 相武台ニーレンクリニック 川合敬子様 20枚

編集後記

年が明けてからコロナ禍の中、私たち透析患者は特に予防を心がけて「新しい日常」に対応してきたことと思います。家の中でできる新しい楽しみを発見された方も多いのではありませんか。

腎友会の活動もバス旅行の中止に始まり、様々な会議も中止となり、なかなか皆様に知らせる記事が集まりません。日々の生活での楽しみや、ご自分なりの健康法など、この機会に「腎友さがみはら」に発表してみたいはいかがでしょうか。写真や絵画がお得意な方、「腎友さがみはら」の表紙をかざってみませんか。役員だけではなく会員の皆様の発表の場として、今は会報だけが交流の場なので、ぜひ投稿をお願いいたします。

体調第一で、少しでも楽しみを持って明るくおすごしてください。(渡部記)